

令和7年度3学期始業式 (R8.1.8)

あけましておめでとうございます。

今年(令和7年度)は西暦2026年です。ということは、21世紀の最初の25年、四半世紀が終わり、今年から新しい四半世紀が始まったこととなります。

私は20世紀の真ただ中の1963年の生まれですが、私が子供の頃には21世紀は科学技術が発達して何でも夢がかなう豊かな時代として想像されていました。

しかし、現実に21世紀になってみると、想像通り、というか想像以上に発達したのはインターネットとかスマートフォンとかのネットワーク技術だけで、月や火星に都市もできていないし、自動車が空を飛んだりもしていません。

また、いくつかの点では、この25年で20世紀より悪くなったところもあります。例えば、20世紀には、人権や平等、平和という理想や価値観は、少なくとも面と向かって否定できるものではありませんでした。ところが、現在では、人権や平等、平和という理想を平気で踏みしめる人や国家が増えてきました。

せっかく発達したネットワーク技術も、早く正確に情報を伝えるという本来の役割よりも、人を誹謗中傷したり、独りよがりな正義感からデマをまき散らして憂さ晴らしをするマイナスの面の方が強くなっている気がします。

今年から始まった新しい四半世紀は、それらの問題を克服してみんなが幸せになれる時代になってほしいと思います。

そのためには皆さん一人一人の行動が大切です。大それたことをする必要はないと思います。リアルでもネットでも友達と仲良くするとか、困っている人がいたら助けてあげるとか、少しでも周りの人と良い関係をつくれるよう心がけるだけで良いでしょう。これらの小さな動きが集まれば、世の中全体にも変化を生むことができるのではないのでしょうか。

私は、21世紀を最後まで見届けることはできないでしょう。しかし、皆さんであれば長生きすれば、22世紀まで手が届きます。

皆さんの時代である21世紀をより良い時代にしてください。